

社会貢献活動

分かったかなあ？夏休み勉強会

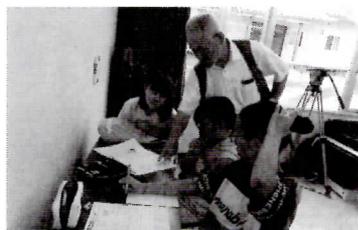
常任委員 大道淳子

七月二十九日、西方公民館で夏休み子ども教室「夏休み勉強会」が催されました。

夏休みの宿題を中心に勉強を教えてほしいと思う西方小学校の1〜6年生十五人、退職公務員連盟新見支部の元教員三人と「ちびデポ」というサークルで子どもや障がい者らのボランティア活動をしている新見公立大学健康保育科一年生九人が参加しました。

まず初めに、退公連の杉秀樹支部長、船越孝則、大道淳子、大学生が自己紹介をしました。学生らは、大きな日本地図で出身地を示しながら地域PRも兼ねて自己紹介を行い、児童は興味深く聞いていました。

この後児童は、持ち寄った算数、国語、社会、理科などの宿題を広げ指導者に見守られながら取り組みま



夏休み勉強会の様子

した。児童は、分からない問題は積極的に質問をし、解けた時は、満足そうでした。「夏休み勉強会」は、三十一日と八月一日

にも行われ、いずれも社会貢献活動として取り組みました。

女性部活動

『花みずき』訪問で入所者とふれ合う

常任委員 横内寿美恵

九月十日、私たち女性部は地域社会貢献活動の一環として、新見市高尾のグループホーム『花みずき』を訪問しました。

参加者十九名は、大道常任委員の司会で利用者の方々々と歌や手遊び、イスに座ったままでできる「つまずき防止」の足の運動、お手玉遊びなどを楽しみました。途中、利用者の中にお手玉名人の方がおられて模範演技を見せていただき一同はとても感激いたしました。同じ年をとるならこんな風にとりたいなと思った瞬間でした。そして最後に「さるかに合戦」の紙芝居を見ていただきました。

お茶タイムでは、施設内で収穫されたいちじくの「コンポート」を利用者の方々と一緒に頂きながら、和やかな会話とふれ合いの時間を過ごすことができました。

女性部員の皆様方にご協



施設利用者との交流の様子

力いただき、楽しい施設訪問ができましたことをお礼申し上げますとともに、今後もこうした活動を続けていければと思います。

長島愛生園を訪ねて

恒例の研修・親睦旅行へ

女性部長 藤川結子

十月三十日、会員二十五名が、長島愛生園・牛窓オリブ園へ研修・親睦旅行に出かけました。

車中では、杉支部長挨拶に続き、日公連の歌「誇り新たに」を全員で斉唱し、自己紹介を兼ねて日ごろの健康法を紹介するうちに目的地「長島愛生園」に到着しました。

『長島愛生園』は、日本初の国立療養所として1930年(昭和五年)十一月二十日に長島に開設され、幾多の変遷を経て1996年(平成八年)の「らい予防法」廃止まで隔離政策が続きました。現在ではハンセン病は完全に治癒していますが、入所者はすでに高齢化し、また何らかの後遺症もあって社会復帰が困難なため、「愛生園」を「終の棲家」として生活されている方が多くおられます。

長島愛生園歴史館の学芸員の説明を聞き、隔離政策による人権侵害の歴史を目の当たりにして、「偏見や差別のない社会にするために私たちが無関心でいてはならない」と思い

を強くしました。

長島を後にして、昼食は日本のエーゲ海を眼下に眺めながら鯛づくしの料理でお腹を満たしました。

午後は「オリブ園」での記念撮影やオリブ製品を試食・試し塗りをして、お気に入りを探し、「日本の駄菓子屋」にも立ち寄り品数の多さに驚きながら面白い物を楽しみました。

帰路の車中では、ビンゴゲームや脳トレクイズなどを楽しみ、絶好の行楽日和に恵まれたことに感謝しながら一日を無事終えました。



歴史館パノラマ前での説明



全員での集合写真

編集後記

令和二年は、雪のない新年を迎えました。新見市は二年続きの集中豪雨に見舞われました。今年も退公連新見支部の益々の活性化と災害の無い安心な飛躍する「子年」になってほしいと切望します。(広報部)